
令和5年 壱 岐 市 議 会 定 例 会 2 月 会 議 会 議 録 (第1日)

議事日程 (第1号)

令和5年2月9日 午前10時00分開議

日程第1 会議録署名議員の指名

11番 小金丸益明
13番 中田 恭一

日程第2 審議期間の決定

1日間 決定

日程第3 議案第2号 令和4年度壱岐市一般会計補正予算 (第11号)

財政課長、企画振興部長、
農林水産部長説明、
質疑あり、委員会付託省略、
討論なし、可決

本日の会議に付した事件

(議事日程第1号に同じ)

出席議員 (14名)

1番 森 俊介君	2番 樋口伊久磨君
3番 武原由里子君	4番 山口 欽秀君
5番 中原 正博君	6番 山川 忠久君
7番 植村 圭司君	8番 清水 修君
9番 赤木 貴尚君	11番 小金丸益明君
13番 中田 恭一君	14番 市山 繁君
15番 土谷 勇二君	16番 豊坂 敏文君

欠席議員 (1名)

10番 音嶋 正吾君

欠 員 (1名)

事務局出席職員職氏名

事務局長	山川 正信君	事務局次長	平本 善広君
事務局係長	折田 浩章君		

説明のため出席した者の職氏名

市長	白川 博一君	副市長	眞鍋 陽晃君
教育長	久保田良和君	総務部長	久間 博喜君
企画振興部長	中上 良二君	市民部長	西原 辰也君
保健環境部長	崎川 敏春君	建設部長	増田 誠君
農林水産部長	谷口 実君	教育次長	塚本 和広君
消防本部消防長	山川 康君	総務課長	平田 英貴君
財政課長	原 裕治君	会計管理者	篠崎 昭子君

午前10時00分開議

○議長（豊坂 敏文君） 皆さん、おはようございます。

会議に入る前にあらかじめ御報告いたします。壱岐新聞社外2名の方から報道取材のため撮影機材等の使用の申出があり、許可をいたしておりますので、御了承願います。

音嶋議員から欠席の届出がっております。

ただいまの出席議員は14名であり、定足数に達しております。

ただいまから、令和5年壱岐市議会定例会2月会議を開きます。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（豊坂 敏文君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

2月会議の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、11番、小金丸益明議員、13番、中田恭一議員を指名いたします。

日程第2. 審議期間の決定

○議長（豊坂 敏文君） 日程第2、審議期間の決定を議題とします。

お諮りします。2月会議の審議期間につきましては、本日1日としたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、2月会議の審議期間は、本日1日と決定いたしました。

ここで、白川市長より発言の申出がっておりますので、これを許します。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） おはようございます。令和5年壱岐市議会定例会2月会議の開催にあた

り御挨拶を申し上げます。

初めに、公立保育施設の入所状況について御報告いたします。

令和5年度において、公立の保育施設4施設とこども園で定数560名に対して児童数455名、在園率は81.3%となります。その受入れを予定いたしております。また、三島保育所を除くへき地保育所5園のうち、渡良、初山のへき地保育所につきましては、入所調整の結果、令和5年度より休園の措置を行うこととし、柳田、沼津、志原のへき地保育所3園で定数120名に対して36名、在園率は30%の受入れを予定いたしております。

これまで御報告させていただいておりますとおり、へき地保育所につきましては、令5年度末、令和6年3月で渡良、沼津、初山のへき地保育所3園の閉園手続を行い、残る柳田、志原のへき地保育所2園を令和6年度末、令和7年3月で閉園することで、保護者の皆様、子育て世帯の皆様の御理解と御協力をいただきながら手続を進めてまいります。

次に、こども家庭センターの設置について御報告申し上げます。

国においては、これまで待機児童対策、幼児教育、保育の無償化及び児童虐待防止対策の強化など、各施策に取り組んできたものの、少子化の進行、人口減少に歯止めがかかっていないことから、子供に関する取組や政策を我が国の社会の真ん中に据えて強力に進めていくこととし、令和5年4月1日にこども家庭庁を創設して、子供を誰一人取り残すことなく、その健やかな成長を支援していくこととされました。

また、昨年6月に成立した改正児童福祉法により、全ての妊産婦、子育て世帯、子供へ、一体的な相談支援を行う機能を有する機関としてこども家庭センターの設置を令和6年4月の施行に向けて努めることとされました。

本市におきましても、子ども・子育て支援は喫緊の課題であり、早急に対策に取り組む必要があることから、こども家庭課に設置しているこども家庭総合支援拠点、これは児童福祉でございますと、健康増進課に設置している子育て世代包括支援センターいきいろ、これは母子保健を担当しております、この意義や機能を維持した上で組織を見直し、国の施行を待たずに、1年前倒しして、本年4月1日からこども家庭センターを市民部に設置することとし、現在準備を進めております。

次に、2月3日から本日までの7日間、本市芦辺町出身の濱田征司監督率いる富山県を本拠地とするYKK陸上競技部が初めてとなる壱岐合宿を実施いただき、13名の皆様にお越しいただきました。

濱田監督は壱岐商業高校を御卒業後、YKK株式会社に入社され、1年目からニューイヤー駅伝出場を果たし、計12回の出走を数え、平成19年度からはコーチ、平成30年度からは監督を務めておられます。

今回の壱岐合宿については、濱田監督のふるさと壱岐への強い思いにより実現され、2月5日には市内小学生を対象としたランニング教室を開催していただくなど、一流、そして、先輩に学ぶすばらしい機会を提供いただいております。

また、2月20日から27日までの8日間、駿河台大学駅伝部が昨年に続き2度目となる壱岐合宿を実施いただき、24名の皆様にお越しいただくこととなっております。合宿期間中には市内高校生を対象とした陸上教室を開催いただく予定であります。陸上合宿においても選手及びスタッフの皆様からは合宿地として高評価を頂いており、次年度以降も継続して本市を選定していただけるよう努めてまいります。

次に、本市における観光客数を推計する上で参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの令和4年1月から12月末までの乗降客数累計は49万4,013人、対前年比130%でありましたが、コロナ禍前の令和元年度比で67.3%と依然として厳しい状況であり、加えて、燃料油価格及び仕入れ資材価格高騰などの影響を受けて、観光需要の減退を危惧しております。

本市において、観光業は農水産物の1次産業まで広く波及効果をもたらす重要な産業であるため、全国旅行支援後に切れ目なく実施する観光需要喚起対策事業として個人向けのプレミアム付き宿泊券発行事業、団体向けの「壱岐市・対馬市」周遊ツアー送客支援事業並びに教育旅行燃料油価格上昇支援事業に対する経費について所要の予算を計上いたしております。

詳細については、後ほど担当部長に説明させますので御審議のほどよろしくお願いいたします。

引き続き、本市経済の早期回復とさらなる活性化に全力で取り組んでまいりますので御理解賜りますようお願い申し上げます。

本日、提出しております案件は、令和4年度一般会計補正予算に係る案件1件でございます。何とぞ慎重御審議を頂き、適正なる御決定を賜りますようお願い申し上げ、開会の御挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

日程第3. 議案第2号

○議長（豊坂 敏文君） 次に、日程第3、議案第2号令和4年度壱岐市一般会計補正予算（第11号）を議題とします。

提出議案の説明を求めます。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） 本日、上程いたしております議案につきましては、担当課長及び部長に説明をさせますので、よろしくお願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

○議長（豊坂 敏文君） 原財政課長。

〔財政課長（原 裕治君） 登壇〕

○財政課長（原 裕治君） おはようございます。議案第2号令和4年度壱岐市一般会計補正予算（第11号）について御説明申し上げます。

令和4年度壱岐市の一般会計補正予算（第11号）は次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,850万1,000円を追加、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ250億1,988万8,000円とします。

第2項は記載のとおりでございます。

繰越明許費の補正、第2条繰越明許費の追加は第2表繰越明許費補正によるものでございます。本日の提出でございます。

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業として、追加の経済対策を実施するもので、併せまして、その財源の一部に充てるため、現計予算の事業について実績見込みによる減額補正を行うものでございます。

2ページから3ページをお開き願います。

第1表、歳入歳出予算補正の款項の区分の補正額等については記載のとおりでございます。

次のページをお開き願います。

4ページ、第2表繰越明許費補正の1追加は、2款1項総務管理費の新型コロナウイルス感染症対応事業費において、今回、補正する事業のうち、燃料油価格高騰等に伴う観光需要喚起対策事業外3事業につきまして繰越明許費を追加するもので、合計9,713万円を計上しております。

なお、繰越事業の完了予定及び繰越理由等につきましては、別紙資料1、令和4年度2月補正予算案概要の4ページに記載のとおりでございます。

それでは、事項別明細書により内容を説明いたします。

まず、歳入について御説明いたします。8ページから9ページをお開き願います。

11款1項1目、地方交付税の普通交付税は、今回の補正予算に係る一般財源として4,102万3,000円を計上しております。

15款2項1目総務費国庫補助金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、今年度、追加交付見込みの交付金747万8,000円を計上しております。

次に、歳出について御説明いたします。

今回の補正予算の事業内容につきましては、別紙資料1、令和4年度2月補正予算案概要で説明いたします。

2ページをお開き願います。2款1項12目、新型コロナウイルス感染症対応事業費において、

観光課所管事業として、プレミアム付き宿泊券発行事業、「壱岐市・対馬市」周遊ツアー送客支援事業、教育旅行燃料油価格上昇支援事業の3事業に係る事業費6,302万4,000円を計上しております。

次の商工振興課所管事業の物価高騰対策産品等消費拡大支援事業は、本市産品の宣伝、販売や観光、移住、ふるさと納税などのプロモーション事業を実施するもので962万5,000円を計上しております。

次のページを開き願います。3ページ、農林課所管事業として、資料に記載の米販売価格緊急対策事業、農産物出荷資材価格高騰対策事業、畜産経営体質強化飼料高騰緊急対策支援事業の3事業に係る事業費3,061万2,000円を計上しております。また、今年度の事業の実績見込みにより、資料に記載の5つの事業につきまして、減額をいたしております。

以上で、議案第2号令和4年度壱岐市一般会計補正予算（第11号）につきまして説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

〔財政課長（原 裕治君） 降壇〕

○議長（豊坂 敏文君） 中上企画振興部長。

〔企画振興部長（中上 良二君） 登壇〕

○企画振興部長（中上 良二君） おはようございます。議案第2号令和4年度壱岐市一般会計補正予算（第11号）に計上しております燃料油価格高騰等に伴う観光需要喚起対策事業について御説明を申し上げます。

資料2、議案第2号関係資料の1ページ目をお開き願います。

実施目的でございますが、長期化するコロナ禍により大きく落ち込んだ本市の観光需要について、原油価格高騰に起因する燃料油の価格高騰による航路運賃及び仕入れ資材高騰に加えまして、リプレイス還元事業終了など、早期回復を目指す中において大きな障害が重なっている状況でございます。

このことから、現在、実施されております全国旅行支援が3月末で終了予定となっておりますことから、令和5年4月以降に切れ目なく本市独自の観光需要喚起対策を実施することで、観光業の支援にとどまらず、交通、そして、お土産のほか、農水産物等の地場産品の消費拡大など、1次産業まで幅広く波及効果、好影響を及ぼすことで早期の地域経済活性化を図るものでございます。

次に、事業内容について御説明申し上げます。

まず、1つ目のプレミアム付き宿泊券発行事業でございますが、大手コンビニエンスストアにおいて額面3,000円の宿泊券を1,000円で2万枚を発行、販売し、個人型旅行の需要喚起を図るものでございます。

本事業につきましては、御利用いただく皆様がコンビニエンスストアで気軽に購入できることから販売が好調であった成果に基づくものでございまして、全国旅行支援終了後に切れ目なく実施することでほかの自治体との差別化を図り、持続的な観光需要の獲得及び誘客増を目指すものでございます。

事業費といたしましては、4,920万円、成果目標を発行枚数と同じ2万人泊、販売利用開始については4月以降を予定いたしております。

次に、2つ目の「壱岐市・対馬市」周遊ツアー送客支援事業でございますが、コロナ禍や燃料油価格高騰の影響により、団体ツアーの減少は民宿をはじめ多くの宿泊施設に加え、観光バス事業者、観光施設などの幅広い事業者に対し影響を及ぼしていることから、市内での宿泊及び市内事業者所有の観光バスを利用する団体ツアーを造成、販売する旅行会社に対し、送客支援として1人泊当たり1,000円を支援し、団体型旅行の需要喚起を図るものでございます。

団体ツアーにつきましては、壱岐市・対馬市をセットとした旅行商品が多く、また販売・送客も好調であることから、対馬市と協議・調整を重ねまして、今回、初の試みとして連携した営業及び情報発信を行うことで、両市それぞれに相乗効果をもたらすよう取り組んでまいります。

事業費といたしましては、1,080万円、成果目標を1万人泊、対象期間については4月以降及び夏季の閑散期対策を予定をいたしております。

次に、3つ目の教育旅行燃料油価格上昇支援事業でございますが、令和5年度に教育旅行で来島される学校につきましては、急激な燃料油価格上昇は本市を教育旅行先と決定いただく時点の2年前となります令和3年度時点では想定がなく、学生の皆さんに上昇部分の負担を強いることになるため、3ゾーンを超える部分についての支援を行うことで持続的な教育旅行の需要喚起を図るものでございます。

事業費といたしましては302万4,000円、対象期間を4月以降、想定人数を4,200人といたしております。

事業期間は、準備期間を含め令和5年2月からとしておりますが、観光需要の早期回復を目指すため、4月以降の販売に向けて周知等準備期間が1か月程度必要となるために、今回、本事業を計上をいたしております。所要予算額につきましては全体で6,302万4,000円。

なお、経済効果といたしましては、プレミアム付き宿泊券発行事業が約4億1,734万円、「壱岐市・対馬市」周遊ツアー送客支援事業が2億867万円、全体として6億2,601万円、教育旅行を除き10.43倍の費用対効果を見込んでおります。

次に、2ページ目の物価高騰対策産品等消費拡大支援事業について御説明を申し上げます。

事業目的及び事業概要でございますが、輸送コストの高騰及び原材料費の高騰などにより売上げが落ち込んでいる本市産品などを大都市圏で宣伝、販売し、本市の活性化に寄与することを目

的として事業を実施するもので、また、同時に、観光、移住、ふるさと納税のPRを実施することによりまして本市全体のプロモーション事業として実施するものでございます。

本事業につきましては、物価高騰対策として実施することから早急に事業を実施する必要があるため、令和5年4月また5月を皮切りに東京・大阪・福岡にて順次イベントを実施するものでございます。

事業内容につきましては、東京・大阪・福岡にて多くの人通りが期待できる場所において、各1回、二、三日間の老岐フェアを開催するものでございまして、予算額は962万5,000円といたしております。

事業期間は準備期間を含め、令和5年2月からとしておりますが、事業内容等を早急に調整し、令和5年度早々にイベントを実施することで切れ目ない支援を行い、地域経済の活性化を図るとともに本市製品の消費拡大を目指すものでございまして、今回、本事業を計上いたしております。

以上でございます。

〔企画振興部長（中上 良二君） 降壇〕

○議長（豊坂 敏文君） 谷口農林水産部長。

〔農林水産部長（谷口 実君） 登壇〕

○農林水産部長（谷口 実君） 皆さん、おはようございます。

議案第2号令和4年度老岐市一般会計補正予算（第11号）の2款1項12目新型コロナウイルス感染症対応事業費農林課関係について追加説明を申し上げます。

議案資料2の議案第2号関係資料3ページをお開きください。

米販売価格緊急対策事業について御説明を申し上げます。

1、事業目的は、米の生産販売においては、原油価格の値上がりによる資材価格の高騰の影響を受けており、特に生産コストの2割を占める肥料、農薬価格の高騰が顕著であり、そのコスト高の一方で、コロナによる原油価格高騰の影響を受けた物流の鈍化と物価高を受け、特に外食を中心とした消費停滞が長引いていることから米の需要が減少し、厳しい販売情勢にあり、農業経営体の経営を大きく圧迫している状況になっております。

この背景を受けまして、下の表に記載のとおり、JA老岐市の委託販売における令和4年度の米販売価格は令和3年度の販売価格を大きく下回る見込みであることから、令和4年産米と令和3年産米との価格差の激変を緩和するための支援を行い、農業経営体の経営の強化を図ることとしております。

2の事業概要といたしましては、令和4年産米と令和3年産米との販売価格との差額の2分の1を支援することとしております。

3、事業内容は、資料記載のとおり、品種ごとの販売単価の差額見込額に1袋30キログラム

として取扱量を乗じた額を対象事業費とし、総額3,794万2,291円に補助率2分の1を乗じ、補助額1,897万2,000円としております。

付帯事業費として振込事務手数料11万円を加えまして1,908万2,000円を予算計上いたしております。

事業期間といたしましては、事業主体であるJA壱岐市との事業費等の確認、調整等に相応の時間を要するため、令和5年2月から令和5年8月を予定いたしております、繰越明許費補正として計上いたしております。

続きまして、次の4ページをお開きください。

農産物出荷資材価格高騰対策事業について、御説明申し上げます。

1、事業目的は、コロナ禍における原油価格高騰や物価高騰の影響により、農産物の、例えば、作物でいいますと、イチゴ、メロン、ブロッコリー、アスパラなどを出荷する際に使用するダンボールやセロハン、結束テープ、パック・トレイ、発泡箱などの資材について、令和3年から令和4年にかけて各資材で3%から20%程度価格が上昇し、農家経営を圧迫しているため、支援を行い、農業経営体の経営の強化を図ることとしております。

2、事業概要として、出荷資材の令和3年度供給金額と令和4年度供給予定金額との差額の価格上昇額を支援するものであります。

3、事業内容としましては、対象事業費JA分における価格上昇額が473万8,019円、JA以外の事業者分を55万円と見込みまして、対象事業費合計528万8,019円で補助率は10分の10、補助額528万9,000円に付帯事業費として振込事務手数料11万円を加えまして、補助事業費計539万9,000円を予算計上いたしております。

4、事業期間は、事業主体との事業費等の確認・調整等に相応の時間を要するため、令和5年2月から令和5年8月を予定いたしております、繰越明許費補正として計上いたしております。

下の表には、JA出荷資材供給金額の令和3年度と令和4年度予定金額の比較と価格上昇額並びに対象事業費を掲載いたしております。

続きまして、次の5ページをお開きください。

畜産経営体質強化飼料高騰緊急対策支援事業について御説明申し上げます。

1、事業目的は、コロナ禍における原油価格や物価高騰の影響により飼料価格が高騰し、畜産経営の継続が危ぶまれる状況となっております。このため、飼料価格高騰の一部について支援し、畜産経営体の体質強化を図るものであります。

2、事業概要は、飼料価格安定基金制度における第1四半期と第2四半期の補填後の差額1トン当たり4,768円に対して、県の支援1トン当たり2,000円と同額を支援するものであります。

なお、県の支援事業の内容は、下の表に記載しておりますように、長崎県畜産経営体質強化飼料高騰緊急対策支援事業として、県が10月補正予算で事業化されたものであります。

配合飼料価格は、第1四半期と第2四半期と比較して13%上昇し、1トン当たり10万円台となっており、価格安定制度の補填反映後も8万3,000円台と高い状況となっていることから県と併せて支援するものであります。

3、事業内容は、補助率は1トン当たり2,000円の定額とし、配合飼料は令和4年度第2四半期契約数量に1トン当たり2,000円を乗じた額550万円、単体飼料等は令和4年7月から令和4年9月までのJAでの購入及びJA以外での購入を合わせた288トンに1トン当たり2,000円を乗じた57万6,000円と付帯事業費として振込事務手数料5万5,000円を加えまして補助事業費計613万1,000円を予算計上いたしております。

事業期間は令和5年2月から令和5年3月といたしております。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

〔農林水産部長（谷口 実君） 降壇〕

○議長（豊坂 敏文君） これから質疑を行います。

質疑の通告がっておりますので、これを許します。4番、山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） 事業ごとに質問でよろしいですか、区切って。

○議長（豊坂 敏文君） 事業ごとで。はい。

○議員（4番 山口 欽秀君） では、最初に、燃料油価格高騰等に伴う観光需要喚起対策事業についてお伺いします。

まず、1点目のプレミアム付き宿泊券発行事業に関わることについて質問します。

この事業は、同じような事業が昨年7月の補正予算にも出されて事業としてやられておりますので、7月以降この宿泊券販売の実績をお願いします。

この関係で、今回のプレミアム付き宿泊券に関わることで、現在、行われている全国旅行支援との併用、これは4月以降も続くのかどうかということではありますが、大方続くのではないかなというのもあると思うのですが、3月もこの全国旅行支援との併用を可能として考えているのか。それから、4月以降も同じような全国旅行支援が継続された場合に併用を考えているのか。そのことをお聞かせください。

それから、2番目の「壱岐市・対馬市」周遊ツアーの件ですが、これも昨年の7月の補正予算で出された同等の事業でありますので、昨年の7月の補正予算で出されたツアーの販売実績等を教えていただいて。それに加えて、「壱岐市・対馬市」周遊ツアーということですが、昨年の7月と今回のツアー支援事業の違いがあるのか。1つは、旅行会社に対して5万円の補助が削減されているというのは分かるんですが、その削減の理由も含めて。

それから、先ほど触れられた対馬市と共同でというところで、どのような共同が考えられているのか。何か具体的に何かあれば教えていただきたいというふうに思います。

それから、3点目、教育旅行燃料油価格上昇支援事業ですが、これも昨年の7月の議会の補正予算で出された内容ですが、この事業の実績ですね、予算規模からいうと360万円この予算を組んでありましたが、繰越明許費でいくと300万の予算が繰越しということで出ているんですが、その辺りでいくと、どういう状況でその繰越しが起きたのかということも含めて。

特にこのバンカーサーチャージの問題で燃料油価格上昇支援事業が出てきているわけですので、昨年来のバンカーサーチャージの状況と今後の見通しも含めて、この事業に関わることだろうということでお聞かせください。お願いします。

○議長（豊坂 敏文君） ただいまの質疑に対する理事者の答弁を求めます。中上企画振興部長。

○企画振興部長（中上 良二君） 山口議員の御質問にお答えいたします。

まず1つ目の、昨年7月の補正予算のプレミアム付き宿泊券の販売の実績はどうなっているかという御質問でございます。

目標を1万枚として補正予算を計上していた時点では、全国旅行支援の開始が7月下旬との情報がございまして、効果を高めるために開始時期を合わせることで準備を進めておりましたが、感染拡大によりまして全国旅行支援の開始が10月11日に決定し、また市内の感染状況も収束状況にありましたので、9月20日から販売を開始し、10月1日以降の宿泊分からの利用開始とし、事業終了を令和5年2月末としておりますので現在も事業は継続中でございます。

1月末時点での販売実績が8,202枚でございます。2月8日時点で8,626枚となっておりますので、順調に販売ができておりますので目標達成をする見込みでございます。

次に、全国旅行支援との併用はできるのかという御質問でございます。

現時点では、今、議員がお話しのように、全国旅行支援の対象期間については3月31日チェックアウト分までとなっております。本市独自のプレミアム付き宿泊券は4月以降の宿泊分を対象とするため、時期は重ならないということになりますが、ただし、全国旅行支援が延長された場合においては、効果を高めるために併用可とする予定でございます。

次に、ツアー造成支援事業の販売実績でございます。

目標を5,000人泊として、対象期間を10月から2月末までとしておりますので、これも、現在、事業が継続中でございます。12月末時点での送客実績は2,250人泊でございますが、旅行会社からの申請状況では既に5,000人泊に達しておりますので目標達成をする見込みでございます。

次に、4つ目の、今回の「壱岐市・対馬市」周遊ツアーとなっているが、昨年7月のツアー造成支援事業と違う点があるのかということでございます。

昨年7月のツアー造成支援事業につきましては、本市の宿泊施設への宿泊及び市内観光バス利用を条件とした団体ツアーを造成、販売した旅行会社に対しまして、送客実績に基づき、1人泊当たり1,000円を支援する内容でございました。

本事業の申請時点でのデータでは、ツアーの出発地といたしまして、関東首都圏が50%、中部が19%、関西が17%、九州が14%でございまして、うち、対馬市とのセット、周遊する旅行商品の割合が7割に上っており、旅行会社の担当者からは販売状況も好調である旨、伺っております。

このことから、対馬市と協議、そして、調整を重ねまして、初の試みとして、壱岐市と対馬市を周遊する団体ツアーの旅行商品の造成をしていただくための連携による営業や情報発信を実施いたしまして、送客実績に基づき、両市で支援する事業でございまして、昨年7月のツアー造成支援事業の検証に基づく変更でございまして、この点が異なるものでございます。

なお、広告の分につきましては、やはり今回は送客に当たっての支援をする必要があるだろうということから、対馬市とも協議を重ねまして、今回、広告支援につきましては行っておりません。

次に、5つ目の対馬市と歩調を合わせた支援となっているのかという御質問でございしますが、ただいま御説明をいたしましたとおり、対馬市と協議、そして、調整を重ねた結果として今回実施するものでございまして、歩調を合わせた支援となっております。

次に、教育旅行の関係の分でございますが、昨年、7月会議補正予算の分で計上いたしました分の実績はどうなっているのかという御質問でございします。

想定の子数数を2,000人といたしまして、対象期間を令和4年8月から令和5年3月末までとしておりますので、これも、現在、事業は継続中でございます。

1月末時点での実績につきましては、1,914人でございまして、現時点で2月以降に1校が来島予定でございまして想定していた学生に対してしっかりと支援ができています状況でございます。

先ほど繰越しのことをお話をされましたけれども、今回、挙げておりますこの観光需要喚起対策事業、全てが令和4年4月以降の実施を予定しておりますことから、これを全て繰越予算で計上をいたしているところでございます。

次に、燃料油価格変動調整金の昨年5月からの推移はどうなったのか、また、今後の見通しということでお尋ねでございしますが、この燃料油価格変動調整金、バンカーサーチャージは、毎年1月、4月、7月、10月の3か月ごとの財務省貿易統計旬間速報という資料に基づきまして、5月から7月、8月から10月、11月から翌年1月、そして、2月から4月のゾーンが決定されております。

御質問の昨年5月以降の推移につきましてですが、昨年5月から7月は3ゾーン、そして、8月以降は国の燃料油価格激変緩和補助金によりましてゾーンが引き下げられまして、8月から10月は本来、8ゾーンが4ゾーンに、11月から翌年1月は、本来、12ゾーンが4ゾーンに、2月から4月は11ゾーンが4ゾーンとなっております。

また、国の燃料油価格激変緩和補助金につきましては、令和5年9月まで延長されることが発表されましたので、その時点までは燃料油価格は抑制をされ、ゾーンも同程度で推移することが考えられます。

今後の見通しの判断につきましては難しい状況でございますが、現在の世界情勢から見ても、燃料油価格高騰については今後も当然続くことが想定されるところでございます。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） まず最初のプレミアム付き宿泊券についてですが、実績も良好だということですので、それに関わって、全国旅行支援が4月以降どうなるかということもありますが、以降、継続ということていくと併用が考えられるということていくと、今回、心呼吸の旅よりも割引率は全国旅行支援のほうが下がりましたが、併用でいくとかなり優遇が行われるということだと思っております、併用すると。そうすると確かに優遇されて便利さ、お得感で客も多いですけれども、多くなる可能性はありますが、かなり優遇し過ぎるんじゃないかなと。

このプレミアム付き宿泊券、3,000円のやつを1,000円にする。購入は何枚でも購入できるんですね。そうすると、例えば、1泊1万5,000円の旅行会社で2%割引で3,000円の割引、あと残り1万2,000円をこのプレミアム付き商品券ですと、3,000円の券を4枚買えば4,000円払えば払えるというような形で、複数枚買えるということて理解してよろしいのかということて、あまりにも優遇で、ほかの施策に回すべきではないかなという気がするんですがどうでしょうか。

それから、「壱岐市・対馬市」周遊ツアーのことですが、対馬市も1人当たり1,000円を出すというようなことて理解していいのかということてです。

それから教育旅行のところですが、これは予算は360万円でしたよね。360万円だったのが300万円残しているというふうて理解していいんでしょうか。それならば、このバンカーサーチャージが国の支援があつて、大きな壱岐の支援がなくてもやれるということてではないのかなと思っておりますが、この辺りの7月の教育旅行燃油価格上昇対策事業での不用額の問題での今回も同等の予算が組まれています、どういふお考えかお聞かせください。

○議長（豊坂 敏文君） 中上企画振興部長。

○企画振興部長（中上 良二君） 山口議員の御質問にお答えいたします。

まず1点目でございますが、プレミアム付き宿泊券について優遇し過ぎるのではないかということ、また、利用制限についての御質問だったというふうに思っております。

ただいま申しあげましたように、全国旅行支援につきましては3月末で終了予定ということになっておりまして、やはりこの支援終了後、今の予定では終了ということになっておりますので、やはり切れ目なく観光需要喚起対策を講じること、それが他の自治体との差別化を図って、ようやく取り戻し始めている観光需要にブレーキをかけずに観光需要の早期回復、そして、観光インフラの維持、存続とか地域経済活性化を図るものでございまして、私どもといたしましてはぜひこの分について誘客を図っていきたいということでございます。

また、先ほど申しあげましたように、この観光業につきましてはあらゆる産業に影響があるというようなことから、関係機関、団体等と連携を取りながら現在も取り組んでおりますので、これにつきましてはぜひ推進をしていきたいというふうに考えております。

また、利用制限のお話でございますが、これは令和2年も同様のプレミアム付き宿泊券を発行いたしておりますが、同様に1泊当たり1人1枚までの使用といたしまして、1か月で1人3泊までの利用可と考えております。

ただし、1か月を超えて改めて利用される場合は、再度、1か月で1人3泊まで利用できることで考えておりますが、他の施策等を実施された場合につきましては内容を精査しまして利用される方にとっても利用しやすい方法を検討することになります。

また、対馬市も次の「壱岐市・対馬市」周遊ツアーの件で、対馬市も1,000円での支援を行うのかということでございますが、本市と同様の内容でございます。

対馬に宿泊された場合に同様に1,000円の支援を行うということで、本市と同様の内容でございます。

そして、教育旅行の300万円の減額の分の御質問でございますが、これにつきましては、ただいま御説明をいたしましたバンカーサーチャージの関係の分で、本来、12ゾーンや11ゾーンとなるバンカーサーチャージが4ゾーンに引き下げられたことによりまして歳出が抑制をされまして、予算額が360万円に対しまして執行見込が38万2,000円になっておりますので、執行残の300万円につきましては今回の観光需要喚起対策事業の補正予算の減額を行っているところでございます。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） プレミアム付き商品券についてですが、4月以降の状況を見ながら考えてもいいんじゃないかなというふうに私は思っておりました。それから、対馬市との関係も、ぜひ壱岐・対馬というところで協力するというのは大切だということで進めていただい

いと思います。

それから最後のところですが、バンカーサーチャージの問題ですが、これだけ来年の見通し、今年の見通しからいっても4ゾーンレベルで推移するだろうということですので、今回の7月の分についても不用額300万ということで残っているのですが、今回、320万4,000円ですか、この分、ちょっと多く見積もっているというふうに思いますが、その点はどのようなふうにお考えですか。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員、もう3回目に行きましたから。

○議員（4番 山口 欽秀君） はい。

○議長（豊坂 敏文君） 中上企画振興部長。

○企画振興部長（中上 良二君） 今回の教育旅行の燃料油価格上昇支援事業につきましては、5ゾーンを想定し、算出をいたしております。現在、国の燃料油価格激変緩和補助金によりまして、11ゾーンのところが4ゾーンで抑えられておりますが、10月以降の下期はまだ未定でございます。4ゾーンの1つ上の5ゾーンで算定をした予算を計上させていただいております。以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員、その次、いいですよ。山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） では、次に、物価高騰対策産品消費拡大支援事業についてお伺いします。

まず、この事業をやる委託先はどこなのかということをお聞きします。

○議長（豊坂 敏文君） 中上企画振興部長。

○企画振興部長（中上 良二君） 山口議員の御質問にお答えをいたします。

本事業の委託に当たっては、壱岐市の観光、そして、観光物産に深く精通していることが必要となります。物産販売では酒類を販売することができ、かつ、壱岐産の生鮮食品や加工品などを選定、調達し、各業務場所において適切に販売できる事業者を選定する必要があります。よって、壱岐市競争入札参加資格者名簿に登録されている事業者から業務を履行可能と思われる事業者を複数選択いたしまして、見積入札によりその事業者と委託契約を行っておりまして、令和4年度につきましては、一般社団法人壱岐市ふるさと商社となっております。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） 今回も壱岐市ふるさと商社になるというふうなことでしょうか。

ということがありますが、この壱岐物産の問題なんですが、確かにこの事業の目的の中に「壱岐産品の売上げを進める」ということですが、その壱岐産品の中身の問題ですよね。壱岐で純粋に作られているというのは、お菓子でいうとかすまきだったりするわけですね。それから、干物に

ついてですね、干物の業者に聞いたら今の干物を作る状況というのがかなり厳しいんですよ。壱岐近海で取れる魚がない、とりわけイカは取れない、こういう状況で長崎の市場から買っているというようなことで、それも、干物を作るのに原材料が入らないし、高騰しているということで大変だと。そういう実情なんですよ。

どうでしょう、ほかにも壱岐産品としてウニとかいろんな海産物もありますが、壱岐の生産者そのものがどれだけあるのか、それから、どれだけ原材料として壱岐で調達して漁師、それから漁業関係者の収入につながるのかという、1次産業として漁業との関係でこの壱岐産品の普及、広げるということにかなり今いろいろ課題を抱えているんじゃないかなと思うんですが、その辺りの課題というか認識、この事業に当たってどう考えられたのでしょうか。

○議長（豊坂 敏文君） 中上企画振興部長。

○企画振興部長（中上 良二君） 山口議員の御質問にお答えをいたします。

昨年、受託しております商社での販売実績といたしましては、全体で18社の35商品を販売いたしております。その中には、ただいまお話ありましたお菓子、そして、干物類などが当然ございますし、ウニとか焼酎だとかいうようなものがございます。特にウニや焼酎といったものも好調に販売がなされているところでございます。

その中で壱岐産というようなところ、当然、ここの中には壱岐産というものがございますし、お菓子類につきましても、壱岐の事業者の方がつくられたものをこの物産展で販売をしているというような状況でございまして、私どもといたしましては、やはり一つでも多くその産品を購入していただく、また、それに合わせて壱岐市のPRにつながるものというふうに考えております。

どれだけの壱岐産品というようなことがあるかというようなところは最終的には確認いたしておりますが、壱岐での事業者の方の商品を私どもは販売を行っているというようなことで御理解をいただければというふうに思っております。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） 焼酎、それから、かすまきとか、そういうのは壱岐の業者の方が作られているというふうに思いますが、ほかのウニとかその辺りの壱岐で取れた、壱岐で加工したという点でいくとなかなか「壱岐産」というふうに明記できないお土産が並んでいると思うんです。その辺り、壱岐の業者はそう多くないんですよ、扱われているのは。郷ノ浦港のお土産店に卸している業者もそう多くはないんで、その辺りの卸している業者の利益にはつながると思いますけれども、その基にある漁業をどう支えるかというところなんです。その辺りの観点で、僕は、今、コロナの中で必要じゃないかなというふうに思っております。

そういう意味で、この壱岐フェアでどれだけの効果があるのかというのを疑問に思うわけです。

○議長（豊坂 敏文君） 答弁は要りますか。

○議員（4番 山口 欽秀君） いいです。

○議長（豊坂 敏文君） いいですか。

○議員（4番 山口 欽秀君） はい。

○議長（豊坂 敏文君） その次をどうぞ。

○議員（4番 山口 欽秀君） 次に、米販売価格緊急対策事業についてお伺いします。

この中で質問の項目が間違えておりましたので、まず、この事業期間が8月までというところで、いろいろと事務的なことで遅くなるというようなこと言われましたが、このお米の令和4年度の見込額から実際の額が決まるのは3月中旬に決まるんですよね、農協に聞いたら。3月中旬に決まったらこの決定額に沿って農協は農家の方に支払う手続に入るよということで、農協から農家への支払いは4月にはもうできるというふうなことなんですよ。

そういう意味でいうと、できるだけ農家の方に振込を早くするという点で、農協に歩調を合わせれば4月、遅くとも5月にはできるんじゃないかなというふうに思うわけです。その点ではどうかと。この見込額と3月中旬に決定した額に差が出た場合、この見込額での支給になるのか、決定額との差の振込になるのか、その点も聞かせてください。

○議長（豊坂 敏文君） 谷口農林水産部長。

○農林水産部長（谷口 実君） ただいまの山口議員の御質問にお答えをいたします。

この事業期間が8月までというふうに長期にわたる理由は何かということでございます。これにつきましては、全農の長崎県本部の4年産米の最終買取りが令和5年3月ということで、おっしゃるように3月中旬には最終価格の決定はなされる予定となっておりますけれども、それを受けまして、JA壱岐市との事業実施の確認、調整、そして、最終的には補助金確定の事務に要する期間を含めまして8月末までを事業完了予定としておりますが、議員おっしゃるように、販売価格が決定次第早期に事務を進め、農家の皆様へは早く支払いができるように取り組んでまいりたいと考えております。

それから、見込額と最終的な決定額とどちらで支給するかということでございます。これは、最終的な決定を受けて、その差額に対して補助をするということにいたしております。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） ぜひ農家の方に早く振り込めるように。

昨日聞きましたら、決定次第、農協もすぐ精算を開始するというので、振り込むよということを書いていました。1回で振り込むのか、市の補助金も含めて2回になって振り込むのかというようなことが考えられるわけです。その辺りはやはりJAと協議をしてできるだけ早く、それ

から、手間が省かれるようにということで事務的なところでの推進を行っていただきたいというふうに思いますのでお願いします。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員、答弁は要りせんか。

○議員（4番 山口 欽秀君） はい。

○議長（豊坂 敏文君） はい。では、その次をどうぞ。

○議員（4番 山口 欽秀君） 次に、農産物出荷資材価格高騰対策事業についてです。

この農産物出荷資材については、どのような農産物を出荷している農家の支援になるのか、どのような農家の作物支援なのかということをお教えいただきたい。

その関係でもう一つ、2点目、JA以外の事業者分の申請の手続、窓口はどうなっているのかと。とりわけ農協を通して買われる分は昨年と一昨年との違いが明瞭に出ると思うんですが、JA以外だとこの辺りの年度差の申請がどのようになるのか、窓口はどこなのか、その2点を教えてください。

○議長（豊坂 敏文君） 谷口農林水産部長。

○農林水産部長（谷口 実君） ただいまの山口議員の御質問にお答えをいたします。

どのような農産物の出荷に対する支援を行うのかということでございます。

先ほどの説明の中でも幾らか代表して申し上げましたけども、農産物につきましては、米、いちご、メロン、アスパラガス、ミニトマト、ブロッコリー、かぼちゃ、花き、インゲン、葉たばこなどがございます。それで、JA以外の事業者への支援の窓口はどこにするのかといったことではございますが、これは、直接、市のほうに補助金申請をしていただいて、農家へ市から、直接、支援を、補助金を交付するといった形を取らせていただきます。

それについては、回覧、チラシ等でその方々へは周知をしていく予定にいたしております。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） では、米も含めてですからJAを通して資材を買った農家について全てカバーしている補助制度だということですね。

それから、JA以外のところの申請ですが、領収書とかそういう細かいところでいくとなかなか難しいというところがあると思うんですがその辺りは、ある程度、融通を利かせるという申請になるのか、その辺りはどういうことになりますか。

○議長（豊坂 敏文君） 谷口農林水産部長。

○農林水産部長（谷口 実君） こちらの単価の上昇額の確認につきましては、そこが根拠となる資料は、一応、求めさせていただきたいと思っております。昨年の単価と今年の単価の比較できるもの、また、数量等の違いもあると思いますので、そういったところの数量辺りも出してい

ただいて、そこでこちらで審査させていただくといったことになろうかと思っております。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（４番 山口 欽秀君） なかなか農家の方は、一昨年と昨年ということで資料が十分ではないかもしれないので、できるだけ農家の実情に合わせた事業にさせていただきたいというふうに思います。

○議長（豊坂 敏文君） その次、どうぞ。

○議員（４番 山口 欽秀君） 次、いいですか。

一応、事業は終わりました。

予算概要のところの今年度の執行見込みによる減額のところの質問でよろしいですか。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員、一番下の総務管理、新型コロナウイルスの問題を。

○議員（４番 山口 欽秀君） はい。それをいきます。では、最後です。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のほうで、減額ということで5つの予算の事業内容が出ていることについてお聞きします。

一番、まず①航路利用者燃料油価格変動調整金支援事業ということで、予算では6,230万円の予算が計上されていたのですが、減額で4,400万円ということになっている。こういうふうに大幅になった理由を。もう一つ先ほどのバンカーサーチャージの問題であるとも思うのですが、お聞かせください。

それから、2番目、③のところで介護サービス総合支援事業というものがあります。この介護サービス総合支援事業というのはどのような事業であったのかということと、予算では300万円の減額になっておりますが、なぜ多くの予算が残ったのか、この事業が十分機能したのかどうかお聞かせください。

それから、それとの関係で、壱岐市内でのコロナ感染の介護施設、病院内でのいろんなクラスター発生状況があったと思うんですが、その状況と介護サービス総合支援事業との関係で十分機能したのかどうか、問題点を感じてみえれば教えてください。

それから、学校給食の給食食材高騰対策事業で予算が1食当たり10%ということで予算が組まれていたということでいくと276万円を減額することになった理由をお聞かせください。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） 答弁を。久間総務部長。

○総務部長（久間 博喜君） 4番、山口議員の新型コロナウイルス感染症対応事業の1点目の燃料油価格変動調整金、バンカーサーチャージに係る御質問にお答えいたします。

航路利用者燃料油価格変動調整金支援事業で多額の不用が出たのはなぜかという御質問ですが、

議員御指摘のとおり、7月の補正予算で6,230万円を計上いたしました。今回、執行見込額が1,830万円、不用額として4,400万円を今回減額しております。

本支援事業は、昨年7月会議で補正予算を計上したところでございますが、その時点では、国の燃料油価格変動緩和補助金が令和4年9月で終了するとされていたことから、9月まではバンカーサーチャージは4ゾーン、補助金終了後の10月以降は8ゾーン以上になる見込みでありました。そのため、セーフティネットを3ゾーンと設定し、それを超える部分、8月から9月は1ゾーン分、10月以降は5ゾーン分を予算計上しておりましたが、先ほど企画振興部長から答弁がありましたように国の補助金が二度にわたり延長されております。結果として、4ゾーンのままで引き下げられておりますので不用額が発生をしております。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 崎川保健環境部長。

○保健環境部長（崎川 敏春君） 私のほうから山口議員の御質問の2番、3番につきまして御説明を申し上げます。

まず、介護サービス総合支援事業の内容及びその事業が十分機能を果たしたのかという御質問でございます。

本事業は、市内の介護施設、介護サービス事業所等において、職員またはサービス利用者が新型コロナウイルス感染症を発症したことにより、人員の確保などにつきまして同一の法人グループ内で可能な限りサービス提供を行ったにもかかわらず介護職員等が不足する場合や在宅において家族が感染し、介護者が不在となった場合の要介護者への介護サービスを支援することを目的に、あらかじめ壱岐市のほうに登録をされたほかの介護施設及びサービス事業所から応援職員の派遣を行う事業でございます。

これまでの実績としましては、在宅への派遣につきまして6件7名の要介護者へのサービス提供を目的に応援職員を派遣いたしておるところでございます。

内訳としましては、ひとり暮らしの要介護者が陽性となり、御自宅で御利用をされた方への派遣事例としまして1件、そして、家族が新型コロナに感染し、介護者が不在となった方への派遣事例が5件でございます。

本事業につきましては、長引くコロナ禍の中で壱岐医師会や壱岐病院からの御指導や御助言を頂きながら、医療・介護・福祉・市が連携し、新型コロナウイルス感染症に対応することができたものと評価をしているところでございます。

次に、3つ目の質問ですが、昨年から本年1月までのクラスターの発生状況でございます。

令和4年1月から本年1月まで25件のクラスターが市内で発生をいたしております。また、令和4年11月からの8波の感染拡大では8件発生をいたしており、高齢者施設で3件、医療機

関で1件という内訳でございます。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） 塚本教育次長。

○教育次長（塚本 和広君） 私のほうから山口議員の学校給食用食材費高騰対策補助金の御質問にお答えいたします。

学校給食用食材費高騰対策補助金につきましては、昨年9月会議において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に919万8,000円を補正計上させていただいたところでございます。

9月補正の際は年間でおおむね10%程度の物価上昇を見込んでおりましたが、これまでの実績を見ますと令和4年度の上半期では3%程度の上昇となっており、下半期に入り10%を超える上昇となっております。そのような状況から判断しまして、年間の実績では7%程度の643万8,000円を見込んでおり、今回、276万円の減額補正を計上させていただいているところでございます。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） まず最初のバンカーサーチャージの件ですが、国の施策との関係でなかなか難しいということでもあります。そのために、ある面では費用がかからずよかったということでしょうけれども、国の政治の動きも含めて十分捉えながら事業の計画をお願いしたいというふうに思います。

それから、2番目の介護サービス総合支援事業ですが、もっとこの事業を必要とするということが、これは当初予算に出されていた事業ですよ。そういう意味で、今回、年末にかけてかなりのクラスターが出た、そういう状況の中で、この総合支援事業をもっと有効に使うという点で、十分に機能したと言われましたが、その点、どうなのかなと疑問に思いますが、十分機能したとお考えですか。

○議長（豊坂 敏文君） 崎川保健環境部長。

○保健環境部長（崎川 敏春君） 山口議員の御質問にお答えをいたします。

先ほど御説明の中でも申し上げましたように、施設関係の派遣を本来はメインといたしておりました。しかしながら、施設につきましては、同じ法人グループ内で人数の融通のやりくりをすることができたということで、今回、在宅の方の派遣が中心になったことにより不用額が出たということになっております。

実際の事業は7月から実施をいたしたところでございます。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 山口議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） コロナの問題でいくと、以前、人数が毎日どのくらい発生したのかということが市長の放送がありましたが、それが一切なくなって、危機管理課に聞いても、「十分、市としても危機管理課も把握していない」というような返答があったりということでしたので、この介護サービス総合事業を行う上でも、全体として、壱岐全体のクラスターの発生とか、病院とか介護施設とか学校とか、そういういろんな施設等での状況を十分把握する体制があったのかどうか、そこを私は疑問に思うわけで、今後の取組をその辺りを含めて、この事業がいっぱい予算が残ったわけですけども、もっと機能する余地があったのではないかというふうに私は思っておりますので、よろしく御検討ください。

○議長（豊坂 敏文君） もう3回終わりましたからいいですね。

○議員（4番 山口 欽秀君） はい。いいです。

○議長（豊坂 敏文君） ここで暫時休憩をいたします。再開を11時30分とします。

午前10時19分休憩

.....

午前11時30分再開

○議長（豊坂 敏文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案質疑を続けます。同じく議案第2号について質疑の通告がっておりますので、これを許します。3番、武原由里子議員。武原議員。

○議員（3番 武原由里子君） まず1つ目です。歳出の2総務費7報奨金の350万円の減額について詳細の説明をお願いします。

○議長（豊坂 敏文君） ただいまの質疑に対する理事者の答弁を求めます。崎川保健環境部長。

○保健環境部長（崎川 敏春君） 武原議員の御質問にお答えをいたします。

7節報奨費350万円の減額についての御質問でございますが、この報奨費につきましては、先ほど御説明を申し上げました介護サービス総合支援事業の応援職員1名当たりの派遣手当金で派遣元の事業所に支払うものでございます。

先ほどの説明と重複いたしますが、本事業は施設での大規模なクラスター発生を想定しておりましたが、クラスターの発生をしました施設において同一の法人、グループ内での人員確保などで施設が頑張っていたら、在宅への派遣のみを行ったところでございます。

今後の予算執行につきましては、今後の発生状況等、予測が難しいところではございますが、今現在の発生状況がしばらく続くものと想定し、必要と思われる額を残した上で不用額としまして350万円を減額したものでございます。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 武原議員。

○議員（3番 武原由里子君） ありがとうございます。

続きまして、2つ出しておりますが、これをまとめてします。ちょっと順番を入れ替えて御質問いたします。

燃油高騰に伴う観光需要喚起対策事業について、先ほど山口議員の質問にもありましたので、私のほうからは追加ということで、説明の中で、壱岐独自の支援メニューがということでありました。そこで差別化することによって地域を活性化したいという思いでこの事業を行うという説明があったんですが、今回、現在も壱岐独自のメニューでされているんですが、なかなかそれが多くの市民や全国の方に届いていないということで、なかなか利用されていないという声が届きましたので、実際、この次も同じような支援メニューになるんですけども、先ほどは広告等の支援はこの中には含まれていないとおっしゃいましたが、やはり、この支援をする以上は伝わってから初めて効果があると思いますので、その辺りはどのようにお考えなのかお聞かせください。

2点目ですが、こちらが物価高騰対策消費拡大支援事業ですね。先ほどはふるさと商社にということで委託先をされているということでしたが、こちらも壱岐フェアということで、物産だけではなく、観光PR、ふるさと納税等も含めてということでした。実際にここが今までの実績とやられた後の効果、費用対効果です。その辺りの検証等はどのようになっているのでしょうか。2点お願いします。

○議長（豊坂 敏文君） 答弁をお願いします。中上企画振興部長。

○企画振興部長（中上 良二君） 武原議員の御質問にお答えをいたします。

まず、観光の関係の分からでございます。壱岐市独自の支援メニューの広報体制はということの御質問でございますが、今回の事業につきましては3つの事業を実施予定でございますので、それぞれ御説明をさせていただきます。

まず、1つ目のプレミアム付き宿泊券発行事業でございますが、情報発信につきましては、ターゲットに合わせまして主に九州エリアを対象とした新聞及びSNS広告をはじめ、壱岐市、そして、観光連盟のホームページ、また、LINE、Facebook、InstagramをはじめとするSNSなど、ターゲットとなる方が情報を得やすい手法にて本事業をまず広く知っていただくことに重点を置きながら観光連盟をはじめ、市で連携をいたしまして、情報発信に取り組んでまいります。

2つ目の「壱岐市・対馬市」周遊ツアー送客支援事業でございますが、情報発信につきましては、壱岐市・対馬市へ団体旅行客として送客いただく旅行会社に対する支援でございますので、旅行商品の造成、販売担当者へ面談等により丁寧に説明をする必要がございますので、九州郵船をはじめ、対馬市の観光商工課、物産協会、福岡事務所、そして、本市の観光課東京事務所、そ

して観光連盟が連携をいたしまして、関東以西の旅行会社へ出向きまして営業活動を展開することで本事業の効果を最大限引き出せるように取り組んでまいります。

また、3つ目の教育旅行の燃料油価格上昇支援事業でございますが、市内の教育旅行の受入れ団体と連携をいたしまして、これまで同様、教育旅行を決定していただく学校側への周知はもちろんでございますが、旅行手配を行う旅行会社への情報発信を引き続き行ってまいります。

また、新規の学校につきましては、本市のホームページに加えまして、市内の教育旅行受入団体のほか、九州郵船などの教育旅行に関係する団体と連携を行いまして、誘致営業活動等において本支援事業の説明を行ってまいります。

いずれの事業につきましても、より効果を高めるためには情報発信が重要でございます。申し上げましたとおり、それぞれの事業に適した広報体制の下で島外への発信をさらに強化することに加えまして、島内の観光事業者の皆様にも御協力を頂くことが必要でございますので、引き続き、島内向けの情報発信も行ってまいります。

次に、2つ目のこれまでの委託先と壱岐フェアの実績と費用対効果の分析はという御質問でございます。

まず、これまでの委託先でございますが、東京・大阪での観光物産プロモーションは令和元年度から始めておりまして、東京・大阪での事業を壱岐市ふるさと商社が、福岡での事業を壱岐市観光連盟が実施をいたしております。

また、令和2年度・3年度はコロナ禍によりまして中止をいたしまして、令和4年度は壱岐市ふるさと商社が受託をし、東京・大阪・福岡での事業を実施しております。

令和4年度の実績でございますが、売上額が243万9,000円でレジ通過客数が約1,400人ございました。東京は有楽町の交通会館、大阪は大阪駅の直結の地下街、福岡は博多駅前広場で実施をいたしまして、非常に多くのお客様に御来店を頂き、各会場、いずれも商品はほぼ完売した状況ございました。

また、実際に売場では壱岐を初めて知ったという方、以前、壱岐に行ったことがあり非常に懐かしがられる方、また、壱岐出身者で本市の観光物産展を非常に楽しみに待っておられる方など、多くの方に本市を認識してもらっておりまして、非常に効果が高いものと考えております。

また、議員の皆様には、本イベントをお知り合いの方に周知していただきまして御来場いただき、物産の購入はもちろんでございますが、壱岐市のPRを行っていただきまして、また、来場された皆様からも壱岐市のPRも多数行っていただいたところでございます。

今後も最少の経費で最大の効果を発揮できますように、イベント内容等につきましては、逐次、精査しながら効果的な事業を実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（豊坂 敏文君） 3番、武原議員。

○議員（3番 武原由里子君） ありがとうございます。やはり情報発信ですね。かなり詳しく述べていただきました。

実際、今の旅行メニュー、支援メニューについてもとても複雑で皆さん分かりづらいとおっしゃっております。本当は、多分、日本一というか、かなりの支援メニューが壱岐の場合あるんですが、それがなかなか伝わっていないということで、観光客の伸びにも、1月以降なかなか増えていないと、旅行業者、宿泊業者も大変苦慮されております。

やはり、まず島内の方にも、さっき言われましたように、こういうメニューがあるんだということをお知らせいただくと、それをまた島内の方がお知り合いにも伝えるということは、とても、やはり身近な人から伝えてもらうというのが分かりやすいと思いますので、そういう情報発信をまず島内の方にもぜひお願いいたします。

これは壱岐フェアについても同じです。どこで何があっているか分からないでは、せっかくのこの予算をうまく何倍にも有効に使うためにもぜひそちらの方も早急にやっていただきたいと思えます。

以上です。

○議長（豊坂 敏文君） 答弁は要りませんね。

○議員（3番 武原由里子君） はい。

○議長（豊坂 敏文君） 以上で、通告による質疑を終わります。

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

お諮りします。議案第2号については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、議案第2号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第2号令和4年度壱岐市一般会計補正予算（第11号）を採決いたします。この採決は起立によって行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（豊坂 敏文君） 起立多数です。よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

以上で予定された議事は終了いたしました。この際、お諮りいたします。2月会議において議決されました案件について、その条項、字句、数字、その他整理を要するものにつきましては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、御異議はありますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（豊坂 敏文君） 異議なしと認めます。よって、そのように取り計らうことに決定しました。

○議長（豊坂 敏文君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

これをもって、令和5年壱岐市議会定例会2月会議を終了いたします。

本日はこれで散会いたします。お疲れさまでした。

午前11時44分散会

地方自治法第123条第2項の規定により、署名する。

令和 年 月 日

議 長 豊坂 敏文

署名議員 小金丸益明

署名議員 中田 恭一